

短い間でしたが、1年9ヶ月間 ありがとうございました！

上北山村通信 かおり号 最終号

上北山村に来てあっという間に月日が流れました。この度、山口香織は今月末で協力隊を辞め、明石市に帰ります。協力隊の任期は赴任してから3年間なのですが、募集時は「平成27年3月末まで」と記載されていたため、家族にもそう話してから応募しました。私は奈良県の南部が好きで、昔から住みたいと思っていたので、「どうにか活動期間中に仕事を見つけることはできないか？」という目的もありました。その他の動機は「自分のやりたいことができる」ということ。

村の皆様にとっては『復興協力隊』という「何かすごいことをやってくれるのではないか？村をどうにかしてくれるのではないか？」と思われていた方も多と思います。そういう方からすれば「何の実績もなかった、変わらなかった」と思う方もいらっしゃると思います。私自身も、そう思っています。

そもそも、私は今メディアでもよく目にする『地域づくり』よりも、観光を通じて村外の人を村に呼び、村にお金を落としてもらうことにより『活性化』することには興味がありました。そして観光関連の仕事(ガイドやツアー・イベントを企画)ができればと思っていました。



初々しい...

かみきたに来た当時

備後川 大好きな場所



1年目は幸いにも『やまとびとツアーズ』との事業でツアーを企画でき、とても良い経験ができたと共に村の資源もたくさん発見できました。事業は1年間で終わりましたが、その後も個人的にイベントを開催したり出店したり企画をお手伝いしていると、村外から繰り返し来て下さる方も出てきました。将来は上北山村だけでなく、吉野郡全域をフィールドとしてエコツアーを企画実施して生計を立てられるようになりたいと思っています。エコツアーとはその地域にある自然だけではなく、文化や歴史も資源とするツアーです。八日薬師や虫送り、各お祭り、神楽、餅つき、お茶摘み、古道、昔話、星空…。「ここには何もない」と村の方は仰りますが、村外者から見れば、上北山村ならではの資源はたくさんあります。『活性化』するには資源を活用して自分たちが、村が、きちんと『利益を得る』ことだと思っています。なぜか村では『稼ぐ』ことが悪いことのように言われる印象を受けました。『村の宿泊施設や飲食店、事業者、企業』が稼げないと村にお金は入りません。人がたくさん来ても村内でお金を使ってもらわないと、『活性化』には繋がりません。そして、仕事が無い場所(稼げない場所)には、大半の人は住めません。

「ジビエ」は街では大人気！主力産業になる可能性も！

様々な伝統行事



猟師ツアー



村全体での運動会



村の資源いろいろ



大台ヶ原を活用したマラソン&ヒルクライム



東ノ川集落は魅力的
いつか活用したい
近隣の町村と比較しても
かみきたは子育て支援が
充実！

私は上北山村とここに住む人たちが大好きです。でも、上北山村の将来が心配です。このままだと5年後に何人の子供さんが残っているのでしょうか？そしてこのことに危機感を感じている方は何人いるのでしょうか。これは、村に住まれている方々が一緒になって考えて協力し、行動しなければならぬ問題だと思います。役場でできることには限界があると思います。予算をとることはできても利益を出すことはできません。全てを役場に頼るのではなく、村に住んでいる方たちで村の将来を話し合ってみませんか。もちろん、役場・住民の皆さん・大人だけでなく子どもも一同に会して。特に、旧小学校の活用については今、皆さんで話し合うべき事だと感じています。やり残したことがあるので、今後も上北山村には足を運ぶつもりです。「村の将来を話し合ってみよう」と思う方がいるなら協力したいです。3月末までなら旧小学校にいますのでお電話頂けたらと思います。

村を去るのは寂しいです。今まで本当にお世話になりました。ありがとうございました。山口香織【旧小学校TEL:050-5005-1035】